

通信

NO. 106
2021年11月号

ビジネス総研株式会社

福岡市博多区博多駅前4丁目

33番11-702号

☎092-409-4177

今月のスケッチ

柿



女房殿の妹から、ゆうパック便が届いた。

中には、おいしそうな柿。そのほか、ボウブラ（かぼちゃ）や体によさそうな手作りのハブ茶（別名：ケツメイシ）、ドクダミ茶などが入っていた。

さっそく柿をスケッチした。

スタ
コラ

ぜんざいが食
べたくて

新聞よしこ

ぜんざいが食べたくて、小豆を棚から出して数週間が経過。

小豆を見るたびに、「ぜんざい作ろう」とか、「ぜんざい食

響きあう魂ヘレーネとフィンセント

ゴッホ展 12月23日
～2月13日

福岡市美術館

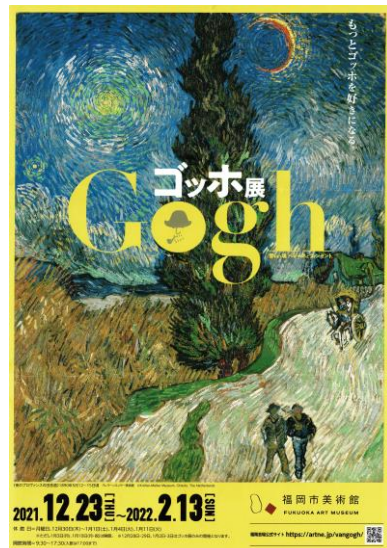
ヘレーネが開いたクレラー=ミュラー美術館とゴッホ美術館のコレクションから、〈ヒマワリ〉と並ぶ代表的なシリーズ〈糸杉〉のひとつ《夜のプロヴァンスの田舎道》など52点のゴッホ作品が展示されます。

各地を遍歴し描き続けた画家ファ

ン・ゴッホの生涯を振り返る展示も注目されています。

チケットは、一般2000円、高大生1300円、小中学生800円

*特別法人券・一般は1800円で準備できます。必要な方はご連絡ください。



べたいけど明日にしよう」とか、「やっぱり小豆は見えない棚の中に戻そう」とか、思うわけです。

だけど、ぜんざいが食べたい。そのような時に、スタコラで『「書く」だけで「できる」ようになる秘密』が掲載され、「考えること」が面倒だから行動できないとのこと。

なるほど～、それではということで、本日の仕事メモに「ぜんざい作る」と書きました。

すると、そのまま毎日眺めていた小豆のところに行き、はさみで袋を開けて鍋に「ザラザラザラ～～～」という勢いの良い音とともに小豆を入れ、ぜんざい作りにとりかかると成功したのです。

書くことはこんなにもパワーがあるのか、と考えながら念願のぜんざいをいただきました。

これには、「自己意識の獲得」や「マインドフルネス」などへの関連も感じた次第です。

しかし、ぜんざいを作って食べるという幸せな時間がやってきたことが何よりも嬉しいことです。

仕事については、抜かりが無いようにと思うわけですが、本当にしたいことは抜かしまくっているという人は案外多いのではないのでしょうか。

沢村貞子さんの365日の献立をテーマにした番組で、お手製のどら焼きを焼く映像と「幸せって？」という貞子さんの話が紹介されていたと、友人がメールのやり取りの中で紹介してくれました。

日々丁寧に生活することで、ちょっとした幸せに出会えるのかもというお話だったようです。

ぜんざいが美味しくできて、私もちょっと幸せな気持ちになりました。

もし、スタコラがなかったら、小豆は袋に入ったままかも…。





映画大好き
の山ちゃんが、毎回、
自分の言葉
で執筆しま
す。

007

ノー・タイム・トゥ・ダイ

監督：キャリー・ジョージ・フクナガ
出演：ダニエル・クレイグ
ラミ・マレック
レア・セドゥ
ジェフリー・ライト
2021年 米英：東宝東和



2006年に6代目ジェームズ・ボンドに就任したダニエル・クレイグが、ついにボンド引退を表明。今回は最後のボンド役としてフィナーレを迎える。

引退してジャマイカで静かに暮らすボンドは、CIAの旧友の求めに応じて現役復帰を余儀なくされ、誘拐された科学者の救出へ赴くことに。

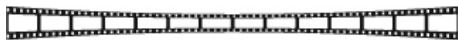
しかし、これが予想をはるかに超える危険な任務となってしまふ。

果たして凶悪な最新技術を備えた恐るべき黒幕の正体とは、果たして結末は如何に。

エンディングで流れたルイ・アームストロングの「愛はすべてを超えて」がまた、ジーンと

来ました。

「ダニエルさん、15年間お疲れ様。ありがとう。」と言いたい。



くまさんの
コンサル日誌



似顔絵作家の小西みどりさんに描いていただきました。

対話型組織開発
キャリア更新講習

キャリアコンサルタントには5年に1回の更新講習が義務付けられている。

この更新講習を、この年齢になって受講しているが、なかなか面白い。

この講習は、「対話型組織開発」(入門編)である。

組織開発についてテキストは「組織の効果性と健全性を高めることを目指した計画的で長期的な変革の実践」であり、「組織文化」や「ヒューマンプロセスに働きかけるための理論や手法」とあり、要約して「組織内の当事者が自らの組織を効果的にしていく(良くしていく)ことや、そのための支援」とある。

今回の講習は、特に、キャリアコンサルタントが、なぜ、今、組織開発を学ぶのかについて、組織開発への積極的な関与が求

められており、キャリアコンサルタントが、基礎理論や①対話や②見える化、ガチ対話、未来づくりの3ステップなどの組織開発の手法などについて、学ぶ場となった。

受講者のグループワークでは、受講者それぞれの経歴や現在の職務などからの意見や考えが出され、対話をとおしてコンセンサス(合意)を得るための実践的なワークショップとなった。

組織開発については、これまで、経営者の相談や管理者研修など、いくつかの事業所で業務として関わってきたが、今回の講座は、大変興味深く、面白かった。

来年2月には「対話型組織開発」(中級編)が計画されている。ぜひ受講しようと考えている。



編集後記

「通信」は、本号で106号。毎月の発行は、なかなか大変である。

毎月、喧々譁々の編集会議がある。



しかも、納得いく合意がない場合もある。

まあ、こんなことを繰り返しながらも、発行し続けることが重要かもしれない。